

# 磐城時報

印刷所 磐城石城郡平町四丁目  
電話 八四一  
代印所 磐城石城郡平町四丁目  
電話 八四一  
印刷所 磐城石城郡平町四丁目  
電話 八四一

## 失業者救済工事に關し

### 濱三郡町村長會

赤木知事以下臨席  
けふ平第三小學校に

縣では八日前九時から平町第六、農村救済農業土木事業の施  
三小學校に濱三郡町村長七十餘  
名、その他關係者を集め赤木知  
事、赤木内務部長、土肥土木、  
重田鑑系、遠藤耕地、松下社  
引田地方、酒井農商の各課長以  
下臨席し赤木知事が訓示をな  
した後赤木内務部長が議長とな  
り左の諸件に關し指示をなした  
は各町村に於て施行する事にな  
つてゐる失業救済土木工事補助  
金割當額を各町村長に説明し午  
後三時散會した。  
協議事項左の如し  
▲指示事項  
一、農村振興町村土木事業  
二、林道開設事業施行  
三、縣管荒地復舊工事施行  
四、海岸砂防林施行  
五、炭窯構築助成

## 滿洲事變の紀念日に 市街戰演習計劃

### 在郷軍人、學生等聯合

石城郡在郷軍人聯合分會磐城中で、若し實行するにすれば水中  
學校、平商業學校、平青年訓練 橋梁等の爆破演習をも行ふ計畫  
所では十八日滿洲事變突發紀念である。  
の市街戰演習をなすべく協議中

## 平町會開催

平町會は 昨報の如く七日午後一時から役  
場會議室に開會、かねて縣に申  
請中の南町道修費が六日  
補助指命があつたのでこれに伴  
ふ豫算更生並に公團建設費支  
出の件を附議可決した。

△既定豫算卅四萬六千五百十  
一圓△更生豫算三十一萬四千  
六百七十六圓、公開建設費  
年度支出額△七年度三千三百  
九圓、八年度五萬六千八百七  
圓、合計六萬百十六圓

## 晚秋籾の取引まで 四倉市場開場

### 養蠶家の便利をはかる

四倉籾市場は秋籾取引開始以來  
非常な好成绩で連日大賑はひを  
呈してゐるが、一兩日以來出廻  
りも終りを告げ閑散になつて來  
た。然し多少の出荷があるので  
市場では閉鎖せず晚秋籾の取引  
が終る十月十五日まで引續き開  
場してゐる事に決定した。七日  
取引は左の如くである。

出廻り八十五貫、最高五十圓  
六十貫、最低四十圓十貫、平  
均四十七圓

▲薪炭用材競賣 植田  
營林署では管内田八村外五ヶ村  
官有林立木(十九日)用材、薪炭  
用一千八百三立方米を競賣す  
る事となり十三日同署に於て入  
札に附する筈。

## 酒醬油出品

第十八日東京醸造試験場で行はれ  
る第十三回全國酒、醬油類品評  
會に平町からも出品する事とな  
り目下準備中である。

## 旋回飛行

既報小名濱海岸に不時着陸した  
千葉縣船橋第一航空學校二等飛  
行士田中近美氏の飛行機P.B.B  
A.M.號は八日前十一時小名濱  
を出發し途中平町上空を訪れ旋  
回飛行を行つて好意を表し歸途  
について。

## 本年の秋刀魚況

小名濱水産試験場磐城丸は秋刀  
魚調査の結果左の如く發表し  
た。

本年秋刀魚漁業には八月二十  
八日頃千葉縣漁船一隻が出漁  
したるを最初とし本縣漁船は  
九月一日より今日迄に平磯其  
他の漁船約十隻(縣外漁船も  
二、三隻)出漁せし模様、北  
海道方面へ向へたるが一兩日

## 植田の籾市場 不人氣で閉鎖

### 仲買人の獨り舞台

植田町籾市場は初秋籾出廻り不  
足から二十七日まで一時中止す  
る事になつたが、同市場は地理  
的不便な立場にあり、尙勿來市  
場との對立關係から經費も嵩み  
本年は勿來市場を開場せず植田  
市場のみ融通資金を仰ぎ辛くも  
取引を開始したが取引値段も他  
に比し安いため同地方部の出廻  
り籾は六分通りが從來勿來市場  
で取扱はれた状態にあつたこと  
で取扱はれた状態にあつたこと  
で今年植田市場のみ開市され  
た結果従前から取引關係にあつ  
た當業者はこれに不満を抱き仲  
買商人の手を経て賣却する者多  
くために同市場も勢ひ閉場する  
の止むなきに至つたものと見ら  
れ一般からその存廢經營の無謀  
に對し非難する者が多い。

## 三縣麻雀大會

茨城 福島 宮城三縣の海岸線麻雀大  
會は二十五日午後一時から平町  
マルトモホールに開催するが、  
参加者多数を豫想されてゐる。

## 放火した娘に 懲役を求刑

石城郡内郷村高坂梅原和子(一  
七)假名が棄切られた情夫の白  
船六の島丸は本月三日〇ヶ崎  
東北四〇〇運水温一六度に  
於て秋刀魚五千尾を漁獲し又  
北海道沿岸へ出漁中の鮪漁船  
が厚岸東嶺南十時間約(六〇  
運附近)にて相當濃密なる魚  
群を發見したりと言ふの外未  
だ吉報に接せざれども近日中  
には魚群を發見し得るものと  
如く事實の訊問があり辯護人か  
なつてゐる。

## 絶好の天候に恵まれ 稻増收疑ひなし

稲作出穂開花期の天候につき小  
名濱測候所で發表した處による  
と、平均温度は二十四度で昨年  
より四分低く平年より六分高か  
つた。降雨量は一一六ミリ四で  
昨年より五九ミリ多かつた。日  
照時は七十四時間で平年より十  
時間少ない、心配してゐた暴風  
雨もなないので稲作に變動なく  
豊作を豫想されてゐる。

## 不謹慎な 小學校長

〇〇小學校では一日朝全校児童  
を講堂に集め「本日は東京大震  
災の九年目に當り吾々國民は一  
生忘れる事の出来ない最も意義  
深い日であるから絶対に酒など  
を禁じ謹慎の意を表する様各自  
父兄に傳達せよ」と訓示したが  
〇〇校長、〇〇訓導以下數  
名は非常識にも午後六時頃から  
會つて恨み言を述べたに佐藤  
酒宴を催し放歌亂舞の醜態を演  
じた事が端しなくも村民に發見  
から平支部法廷で中島裁判長係  
斥の聲は今や同村内に漲り事  
態が開延、豫審調査について型  
のは益々險悪化する村民激怒の  
的となつてゐる。

## 大河原氏逝く

四倉町新町漁業家大河原春吉氏  
は永らく病氣中の處六日午前四  
時死去した。遺言により四倉小  
學校に參拾圓、消防組に參拾圓  
行す北緯四〇度以南は二四度  
を寄附した。

## 以上の高温を示せり、即ち前 年及例年に比し二度内外の高 温なるが前記の水温分布の状 況より推察するに今後秋刀魚 の好漁を見る海面は北海道東 側沿岸五六十里附近の水温 六度内外の海面及び色丹島南東 乃至南一〇〇一五〇里の海 面表面水温は一六一一八度内 外なるべしと豫想さる。

### トシマ水防用生學小

入學進級のわ子様方へ  
完全なツルヤの  
防水マントを  
耐久三年以上

二尺二寸	一圓四十錢
二尺四寸	一圓六十錢
二尺四寸	一圓八十錢

中ゴム合セ別誂マント  
進入生用  
男 二圓三十錢  
女 二圓三十錢

ツルヤ 電話一四〇

今度皆様ノ便宜の爲X光線ヲ新設致シマシ  
タ、御利用ヲ願ヒマス。  
昭和七年九月

外科、内科  
花柳病科  
産婦人科  
X光線科  
(入院隨需、自炊ノ便アリ)

四倉町本町  
木村醫院  
電話三十五番

病室完備  
X光線科  
上田外科醫院  
電話一二九番

内科 小兒科  
花柳病科  
藤沼醫院  
平町紺屋町  
電話平園五〇七番

### 空前絶後之 日本浪界の横綱二大師

宮川 左近師  
松風 軒榮樂師

大合同一門總出演本社後援近日中當地海盛  
座來る

### 油と味噌 山崎合名會社

福島縣平町  
電話(營業部専用)一〇番  
(一般用)二七番  
振替東京一九七五五番

明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

### 耳鼻咽喉科 専門

分院開業披露  
四倉町字仲町  
電話五十五番  
増田醫院  
四倉分院

### 高久病院

平町田町(電話五一三番)

内科 小兒科 外科 花柳病科  
耳鼻咽喉科  
レントゲン科

醫學士 高久 忠清  
新潟醫學士 赤羽 菊雄  
藥劑士 佐竹 菊雄

### 磐城無盡

誠意堅實

### 胃腸 毒核

内科 専門  
十二指 虫腸病  
婦人病 淋病  
皮膚病 専門

松村村 胃腸科醫院  
(電話一七〇) 平町南

### 三來無盡

許免臣大藏大  
社會無用信本湯  
番七四話電

### 家傳秘法 腫物湯

のんで効く  
はれ物の妙藥

主一 面癩 二 瘰癧 三 乳の腫れ 四 指のはれ 五 林巴腺の腫れ  
六 耳の腫れ 七 骨膜炎 八 筋炎 九 はれ物手術の前  
後 一 等よし

◎特にかほのおでき、乳のはれは切らずに治り醜  
痕を残さず美容上最適の治癒劑なり

定價 五十錢 七十錢 一圓十錢 一圓五十錢

特約店  
平町四丁目 小野藥店 四ツ倉町 荒川藥店  
植田町 松本藥店 富岡町 莊野藥店  
湯本町 岩瀬屋藥店

腫物湯 製劑所 茨城縣下孫 磯野 健生堂

### 美神淋藥

試服用 一週分 二週分 四週分 八週分 七十錢

超仁粒銀

氣人大然俄で入水香中口るなくよの  
藥良中懷  
超仁粒銀

一町一店主裁で  
販賣店 募集  
目下大特典アリ此用ヲ速セズ至急  
照會シテ手續電話何レニテモ可  
返事ス 速セバ大損ツカメ此機會

三〇三三〇五五〇五五〇  
大坂市南久寶寺町四丁目  
電話 船場五五五  
本館 宮内善進堂  
東京市淺草區高橋本三丁目  
電話 淺草三三五二

角目丁五町平 局藥邊野山 店理代方地

### 吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番